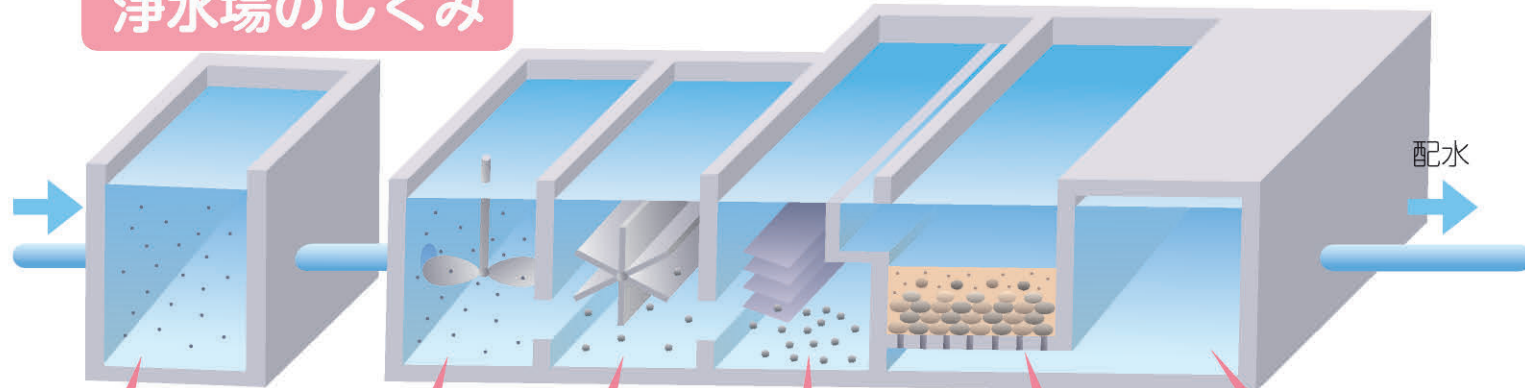


うまい、安全、水づくり工場

浄水場

ダムや川から取り入れた水を、安全でおいしく飲めるきれいな水道水に処理する施設が浄水場です。
浄水場は、水道水の製造工場と言えます。

浄水場のしくみ



着水井

ダムや川から取水した水が最初にたどり着くところです。ここで水の量を調整します。

薬品混和池

水の中の濁りを沈みやすくする薬品などを入れて、よく混ぜ合わせます。

フロック形成池

濁りを薬品の働きによって「フロック」という固まりにします。

沈でん池

フロックを沈めて、上澄みの水をろ過池へと送ります。

ろ過池

沈でん池で取りきれなかった小さなフロックを砂の層でこし取りま

浄水池

きれいになった水に塩素を入れて消毒し、いつでも送り出せるように貯めておきます。

安全な水をお届けするために...

浄水場では、24時間365日、お客さまへ水をお届けするため、常に水の安全性を確認しています。

管理室



水質計器



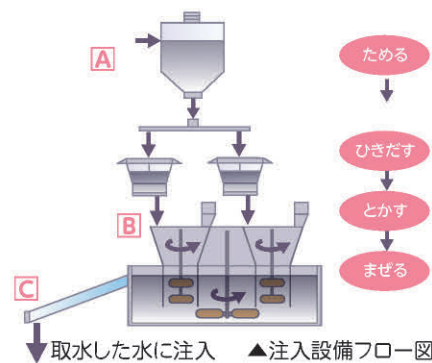
魚類監視水槽



配水量や水質、機械の動作状況を監視しています。浄水処理の各過程での水質を一元管理しています。魚類の様子に異変があれば、すぐに水質を検査します。

水源のダム湖で発生した藻類などのおいしの除去に効果的なのが、吸着作用のある「活性炭」です。主要な浄水場への粉末活性炭注入設備の設置を進め、おいしく安全な水づくりに役立っています。

活性炭注入設備



配水施設

いつでも安心、安定配水

浄水場でつくられた水道水は、いったん配水所に貯められます。そこから、道路の下に埋められた配水管を通してお客さまのもとへお届けしています。

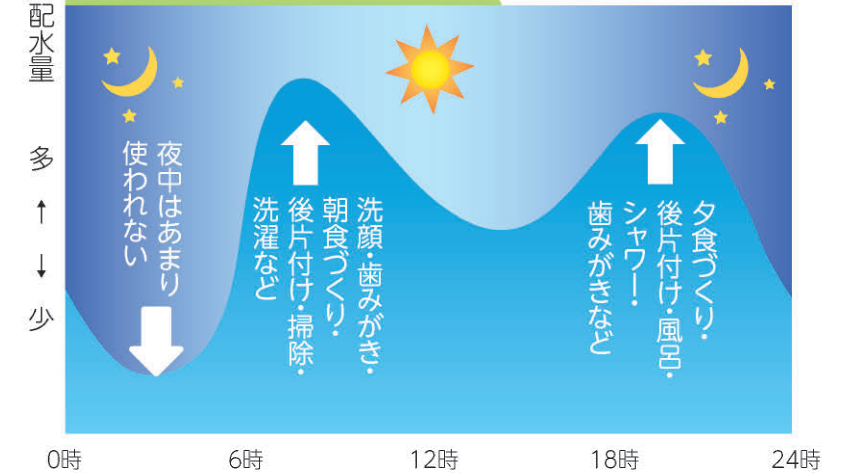
配水所

水の需要量は、時間や季節、天気などによって増減します。配水区域の需要量の変化に応じて、適正な水量で配水を行うため、仙台市内の約50カ所に「水の貯蔵庫」である配水所を設けています。

荒巻配水所(青葉区国見)



時間帯による配水量の変化



配水管

皆さまのご家庭まで水を届ける配水管は、市内に網の目のように張りめぐらされ、その総延長は約4,500km(令和元年度末現在)にもなります。



4,500kmは、仙台と台湾を往復するのと同じくらいの距離だよ！

管路の更新



水道水を安定的にお届けするため、古くなった配水管を計画的に更新する工事(新しい管への交換)を進めています。

十分な耐震性があり、かつ腐食を防ぐ性能に優れた長寿命な「高機能ダクタイトル鋼鉄管」を主に採用しています。

漏水調査



「音聴棒」を使い、水道メーターの周りや水道管で漏水がないか音を聴いて調べます。

漏水による水道水の損失の解消や、道路の陥没事故の未然防止などのため、水道管の漏水調査を行っています。